

歌敷山中学校同窓会会報

第28号 (令和3年度)





目 次

	頁
・〈学校の始まり、学校の終わり〉	同窓会会長 山口 雅登 …… (1)
・続・変わることを恐れない ～コロナ禍の学校～	学 校 長 藤原 裕之 …… (4)
・伝統の重み	教 頭 小笹美賀子 …… (5)
・変わるPTA ～歌敷山中学校PTA改革～	PTA会長 伊佐治洋平 …… (6)
・母校部活動活躍状況 ……	(8)
・歌中歌壇 ……	(11)
・3回生投稿 ……	(12)
・褒章受章者の紹介 ……	(13)
・紙上作品展 ……	(14)
・同窓生近況報告 ……	(18)
・母校・同窓会のあゆみ(年表) ……	(25)
・ホームページの更新について ……	(29)
・各委員会からのお知らせ ……	(31)
・会計報告 ……	(32)
・同窓会規約 ……	(32)
・役員・評議員一覧 ……	(34)
・トライやる・アクション ……	(36)



〈学校の始まり、学校の終わり〉

同窓会会長 山口 雅 登

明治五年（一八七二年）八月、新政府により「人たるものは学ばずんばあるべからず、自今以後一般の人民必ず邑に不学の戸なく家に不学の人ならしめん事を期す」として学制が定められ日本の公教育が開始されました。来年（二〇二二年）度はそれから一五〇年目になります。

それと併せて、忘れてならないのは、昭和二十二年（一九四七年）三月、教育基本法が定められ、新制中学校が発足してから来年度は七十五年目に当たる事です。公教育一五〇年の歴史の前半七十五年の終わりの頃はまだ敗戦の混乱の中にあり、数年後には隣国での新たな戦争にも直面していましたが、後半七十五年の終わりの今、世界は新型コロナウイルスのパンデミックで疲弊しきっているばかりか、対立と戦争の火種は絶えることなく続いています。またこの二年間に、私たちは知らず知らずのうちに世界から大きく立ち遅れているのではないかと実感することが多くなりました。ワクチン開発は遅れ、感染

接触確認アプリは不具合で使えず、各種申請にマイナンバーは役に立たず、オンライン授業・オンライン会議の効率は悪く、電子図書館のコンテンツは貧弱等々。何が問題なのか、これからどうなるのか、教育の面から少し考えてみたいと思います。

日本は経済のグローバルゼーションの対応に失敗しました。平成の三十年間（一九八九年～二〇一九年）に世界一九六カ国のGDPは平均四〇倍に成長しました。東アジアでは、中国が二十六倍、韓国と台湾がそれぞれ六倍に成長しましたが、日本は一・六倍でした。製造業の中核である半導体デバイス（ICなど）産業では、一九九〇年に世界の上位十社の日本のメーカーは一位のNEC他六社が占めていましたが、二〇二〇年には第九位にキオクシア（旧東芝メモリー）一社が入っているだけで米韓台の後塵を拝しています。当然政府もこの事態を座視できず様々な打開策を講じていますが、教

育にも大きな重点を置いています。それを主導しているのは、不思議なことに文部科学省ではなく経済産業省です。先の文科大臣が、引き続き経産大臣に就任したことも関係がありそうです。その理由としては、デジタル分野のイノベーション推進や人材育成だけではなく、今回の新型コロナウイルス・パンデミックの混乱の中でも際立った印象を与えているように、ZoomなどIT産業の教育分野への進出があります。では経済産業省が策定する教育改革とはどのようなものなのか、その概要をみてみましょう。

二〇一八年一月に経済産業省は、「未来の教室」とEdTech研究会と名付けた有識者会議を立ち上げました。EdTech（エドテック）とは、AIや動画、オンライン会議等のデジタル技術を活用した教育技法です。そして一年半の検討の後、二〇一九年六月に提言「未来の教室ビジョン」をまとめて公表しました。それは論点を初等中等分野にしほり、「学びのSteam化」、「学びの自律化・個別最適化」、「新しい学習基盤の整備」の三つの柱で構成されています。このSteamとは、S (science 科学)、T (technology 技術)、E (engineering 工学)、A (art 芸術)、M (mathematics 数学) の合成語

で、アメリカのシリコンバレーで提唱された教育概念です。また「学びの自律化・個別最適化」とは、学習者が自分を知り、自律的に個別最適に学習する環境づくりのことです。そしてこの提言の一環として文部科学省の「GIGAスクール構想」が二〇一九年十二月に発表され、コロナに後押しされるかたちで二〇二一年四月より全国の公立小中学校で生徒一人につき一台のタブレット配布が開始されたのです。

経済産業省の構想する「未来の教室」の方向性を、二〇二一年六月二十四日に開催された第一回「教育イノベーション小委員会／学びの探究化・STEAM化WG」の事務局資料からいくつかひろってみます。

- ・GIGAスクール構想（一人一台端末・高速通信・クラウド）を順次整備し、個別と集合の融合した自律的で個別に最適な学習環境づくりの可能性を追求する。

- ・学校を「高信頼性組織」（心理的安全・知識共有・謙虚なリーダーシップ）に近づける。

- ・学習者視点で「個別学習計画と学習ログ」に基づくパーソナル・トレーニングを確立し、「当事者研究」の手法や考え方を

を応用する。

- ・「異才（ギフトテッド）の生徒」「発達特性の強い生徒」が力を発揮できる空間をつくる。

- ・「探求の入り口」を提供するSTEAMライブラリー（学習者の興味に応じてコンテンツを検索できるオンライン図書館）の充実整備。

- ・ポストGIGAスクールのICT環境維持・更新の財源確保として、既存の教材費支出の抜本的見直し、学校の複合施設化や民間使用による収入確保、学校における広告活用検討など。

これらの内容が今後どれだけ、またどのような順番で実現していくのかわかりませんが、私たちが知っているこれまでの学校が大きく変容していくであろうことは容易に想像できます。理解を深めるために、個別にもう少し詳しく考えてみましょう。

まずSTEAMについて。私はこれを真（S…科学、M…数学）、善（T…技術、E…工学）、美（A…アート）に分けてみます。するとこの教育概念の特異性が善（実践）の部分にあることがわかります。多くの日本人は「ものづくり」が好きですし、「匠の技」に誇りを感じています。そしてかつてはQC（品質管理）

の徹底による労働集約型の生産体制が日本の戦後の繁栄を導いて来ました。しかしそれが「ものづくり神話」に墮し、普遍性のないスキルに依存することで、世界の消費と情報の複雑化をリードすることに失敗しました。その背景には、自然と社会への興味（科学）、技術とシステムの科学（工学）、研ぎ澄まされた抽象力（数学）、見えないものへの感性（アート）、科学と社会の結合（技術）の弱体化があります。どれも入試勉強では身につかないものばかりです。これらをどのようにして今の学校で醸成するのでしょうか。そして気になるのは、STEAMにはいわゆるリベラルアーツ（自由七科）と違って言語が無視されていることです。これは英語話者によくみられることで、外国語で苦労することが少ないためにその重要性をあまり気にしないのです。しかし日本は米国、韓国、中国、ロシアと海を隔てて四つの国に囲まれています。文化的にも外交的にも日本語を深く知るためにも、言語と真正面から向き合うべきです。

次に「学びの自律化と個別最適化」とは何でしょうか。「個別学習計画と学習ログ」に基づくパーソナル・トレーニングとも表現されています。これは一斉授業で、

先生から生徒全員が同じ時間に同じ内容を学ぶのではなく、生徒が自分で学習計画を立てそれぞれに即した内容とペース（「個別最適化」）で学ぶことです。そして生徒がeラーニングなどの情報システムにログインしたり、デジタル教材にアクセスしたりした履歴（ログ）が自動的に蓄積され、「学習履歴データ（＝学習ログ）」として利用されます。ここで問題になるのは学習ログが重要な個人情報であることです。将来的には学校での学びも、塾や自宅での学びも、社会人になってからの学びも、すべて含めた「生涯にわたる個人の学びの記録（＝生涯学習ログ）」が蓄積されるようになるでしょう。それには読書や鑑賞した映画や音楽なども記録可能です。その膨大なデータを集約した**学習**（学習と教育を総合して主体的な観点からこう呼びたいと思います）ビッグデータを読み解くことで、一人ひとりに最も適した教育環境が提供され、あるいは自ら学習環境をデザインすることが可能となります。

個人情報としての**学習データ**は自ら管理するべきではないでしょうか。健康保険証をマイナンバーカードと一体化する動きがあります。これは将来、健康情報を一元的に蓄積するためだと云われます。

現在カルテは病院ごとにデジタル化され、病院間でデータが共同利用されるシステムにはなっていないませんが、これを一元化するのは大変重要な試みです。問題はマイナンバーのような中央集権的な仕組みで国民の同意が得られるかどうかですが、上記で経産省が学校の理想としたような「高信頼性組織」でなければ、特定の管理者に全権を委ねることには強い抵抗があるはずで、ところがデジタル先進国として評価の高いバルト三国のエストニアでは、医療情報を個人が管理し、必要に応じて特定の相手に特定の情報だけを開示することができるブロックチェーンを用いたシステムが実際に運用されています。学習データを自分で管理するシステムとして大変参考になります。

三つ目の「新しい学習基盤の整備」は、STEAMと個別最適化を実現し、ICT環境を維持更新するための財源確保が目的であり、IT技術の利用による合理化と効率化が提案されています。学校という聖域をなくし、一般社会化へ舵を切ろうとしているように思えます。

学校が聖域である必要は、私はないと思います。教育が公共財であることを確実に担保するのは学校以外にはありません。教育の成果は、教育を受ける個人

だけにとどまらず広く社会に及びます。社会全体に及ぶ利益は、個人の私的な意向に阻害されないことが必要です。社会として必要な水準の教育が何かを見定め、常に注意深く維持することは学校の重要な使命だと思います。誤った知識や偏った観念を排除することも学校への信頼があつて始めて可能な仕事です。

小国エストニア（その人口は神戸市よりも少ない）が、ソ連崩壊後の混乱の中からデジタル化による目覚ましい発展を知って、私は内村鑑三の『デンマルクの話』を思い出しました。戦争に敗れて肥沃な土地を大国に奪われた後、地道な植林によって国を立て直した十九世紀のデンマークの人々。話の最後の方で内村はこう言っています。

「国は戦争に負けても亡びません。実に戦争に勝って亡びた国は歴史上げつて少なくなないのであります。国の興亡は戦争の勝敗によりません。その民の平素の修養によります。」

来年度（二〇二二年度）垂水小学校は創立一五〇年を迎えます。そして歌敷山中学校は創立七十五周年です。



続・変わることを恐れ ない コロナ禍の学校

学校長 藤原裕之

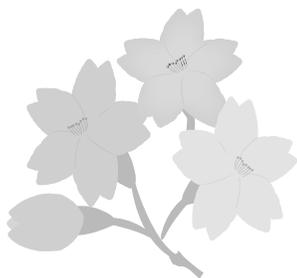
令和三年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に明け暮れた一年と言えらるでしょう。このような中、唯一の明るい話題であった校舎の改修計画も、二度目の中止となりました。これもコロナ関連の予算の影響を受けたと思われ、いつになったらきれいな校舎で生活することができるのか……。

コロナ感染症の状況は昨年度と比べても、決して良くなってきたとは言えません。W I T H コロナの考えから、感染防止対策を実施したうえで、少しずつできるが増えてきています。とはいえ、八月から九月にかけての第五波の感染拡大状況を考えると、ひとつ間違えば大変な状況になることは間違いありません。そのため、今年度も、多くの行事の中止や規模縮小を図り、来賓の皆

様の来校についてもご遠慮願っている状況です。同窓会の皆様にとっては、学校から発信される情報が少なく、ご心配いただいていることとは思いますが、今しばらくお待ちいただき、陰からの応援をお願いいたします。

さて、学校を取り巻く状況はコロナに関係なく大きく変化しようとしています。本校でも、学校の決まりに関する見直しや、標準服の見直し等も始まりました。学び方も大きく変化してきています。一人一台のパソコンを利用しての学び、各教室にはプロジェクターとスクリーンが常備されました。感染拡大防止対策としてのネットワークを利用した授業も始まっています。このように社会はどんどん変化していつていきます。そのような中で、学校は現代社会の多様性に対応できる生

徒を育成していく使命があります。また、その多様なニーズにも応えていく必要もあります。しかし、学校は唯一、誰にとっても同じ環境の中で落ち着いて学び、成長できる場であってはいけないという一面もあります。また、これまでの「歌敷山中学校の良き伝統」は引き継ぎつつ、新しい伝統を創っていくことも大切です。「不易と流行」という言葉がありますが、「変わることを恐れない」と同時に「変わらない大切さもある」ことを意識していきたいと思えます。ただ、校舎だけは早く新しくなってほしいと願っています。





伝統の重み

教頭 小 笹 美賀子

歌敷山中学校の正門をくぐり抜けると、歌中生合いことは「聞こう 考えよう 話そう」が目飛び込んできます。ふとその横を見ると、下記のことばが書かれています。

- ① なんでもなぜと考えよう
- ② 意見はどしどし発表しよう
- ③ よいと決まったら実行しよう
- ④ いつも力を合わせよう
- ⑤ 進んで仕事に汗を流そう

これは、プール前の花壇のところにある大きなプレートに書かれた言葉で、昭和五十四年一月設立の歌中の「生活信条」です。最後に「歌敷山中学校生徒会」とかかれています。本校に着任したときから、なんて素敵な言葉なのだろうと考えていました。今年は、まさにこれを実践した年といえましょう。

今年度、二回の緊急事態宣言に引き続き、まん延防止措置もとられたことで、学校生活には、様々な制限がきました。ただし、昨年と違うところは、休校とはならず、制限の中で生活した一年間でした。

まず四月から学習指導要領が改定され、GIGAスクール構想の本格実施に伴い生徒用GIGA端末が一人一台配布されました。現在、授業はもちろん、宿題が端末で出されたり、アンケート調査を実施したりと、教師も生徒も手探りの段階ながら、急速な勢いで活用が進んでいます。コロナ関係での出席停止に対応してオンライン授業も実施されました。九月からは全普通教室に電子黒板機能付きプロジェクトタとマグネットスクリーンが設置され、大画面で鮮明な画像が映し出されるようになりました。

校舎は老朽化が進み、あちこち補修が続いています。特にポンプ室故障によるグラウンドへの水漏れは、体育会前日の放課後、グラウンドが池のようになり、あまりの惨事に唾然としました。しかし全職員と全学年係で残っていた生徒が力を合わせて汗を流したことで、翌日の体育会が無事開催されました。素晴らしかったのは、誰も文句を言わず、建設的な意見を出して対処していたことです。

行事では、体育会・文化発表会が同日開催で実施。合唱コンクールは行えませ

んでしたが、マスクをしたまま合唱したものを動画で鑑賞。制限の中でも、体をゆらして懸命に歌う姿に心打たれました。三年生は、コロナ禍で工夫を凝らしグラウンドで大札ソーシャルダンス（百人一首大会）を実施。修学旅行は、京都班別活動とUSJの二回、日帰りで行いました。二年生は淡路ニジゲンノモリへ、日帰りの校外学習を実施。トライやるでは、校内で制作した地域を応援するダンスDVDをクリスマスリースと共に地域の事業所に届け、大好評でした。一年生はワクワクオーケストラ・須磨水族館へ校外学習を行いました。

また、「標準服検討委員会」が発足し、再来年度に向けてLGBTQ+にも配慮した標準服に変わろうとしています。校則も、「きまりの見直し試行期間（靴・靴下・髪型・下着・カバン）」を設け、生徒会執行部中心に見直しが行われました。これは、来年度以降も続く予定です。

部活動に関しても、校内のみの時間制限のついた活動が長く続く中ではありましたが、多くの部活動が優秀な成績を収めました。同窓会の皆様には、多大なご支援を賜り、大変感謝しております。

新たな第一歩を踏み出した今年度ですが、四十二年も前に作られた生活信条を実践した一年でした。これからも、歌敷山中の素晴らしい伝統を引き継ぎつつ、更に飛躍していけたらと思います。



変わるPTA 歌敷山中学校PTA改革

PTA会長 伊佐治 洋平

〈PTAの負のイメージ〉

数年前からでしょうか、「理不尽なPTA」「時代に合わない」「PTAは不要」そんな文言をたびたび目にするようになりました。保護者の働き方や生活スタイルが大きく変化する中、旧態依然のやり方を続けるPTA活動の負担感に声を挙げる人が出始め、テレビや新聞などのメディアでも取り上げられるようになりました。

そもそもPTAとは、Parent Teacher Association「親と先生の会」であり、事務局を置く学校に児童生徒を通学させる親と教師の会員からなる任意団体です。その目的は、保護者と教師が協力して学校運営に携わることで教育環境を守り、より充実させるための活動を行うというものです。当然ですが児童生徒は会員ではなく、その学校に通う子どもたち全員が等しくPTAの支援対象となります。

PTAの理念や活動の目的そのものは意義あるものだど誰もが認めるところですが、現実には、「学校行事のお手伝い」を中心に前年通りの活動を繰り返す、保護者の、実質母親たちの義務的活動という

認識が一般的です。専業主婦が多かった時代の名残と、「先生の勤務時間内」という学校側の事情もあり、PTA活動は通常平日の日中に行われることが多く、委員に選出された保護者はしばしば仕事を休んで学校に集まらなければなりません。PTA改革に先立って昨年度実施された歌敷山中学校の保護者対象のアンケートでは、PTAの常任委員や学級委員を引き受けてもいいと答えた人は全体の1割もいませんでした。本部役員は裏腹に、いつしかPTAは「できればあまり関わりたくないもの」という負のイメージが浸透しているように思います。

〈歌敷山中学校PTAの改革〉

この状況に危機意識を持った歌敷山中学校PTAは、前会長が旗振り役となり、関係団体との交渉や会員から広く意見を募るなど事前の準備を進め、活動のスリム化と負担軽減を柱とする大幅な組織改革を実施しました。その改革の骨子は次の四つです。

- ① 入会届の導入：全員強制加入ではなく、希望する保護者だけが入会する。
- ② 常任委員会の廃止とボランティア制の導入：義務や負担を減らし、やれる人がやれる時に活動する。
- ③ 予算の見直しと年会費の減額：これまでの支出項目を整理縮小し、会費負担を軽減する。
- ④ 本部業務の軽減：上部団体や外部団体との関係を見直し整理する。会議や印刷業務などの負担を軽減する。

「前例踏襲をやめて子どもに直接関わりのある活動に特化する」という歌敷山中学校PTAの見直し案は多くの保護者会員に支持され、令和三年二月の臨時書面総会で新しいPTA規約が可決されました。入会届出制となった今年度のPTAの加入率は九割を超えています。

〈今年度の取り組み〉

以上のような過程を経て、今年度の歌敷山中学校PTAは新たな体制でスタートしました。常任委員や学級・学年委員の選出はありません。本部の役職も会長と本部役員に統一され、運営は役員全員で協力して進めます。みな普段は仕事をしていますから、PTAの活動に多くの時間を割くことはできません。今までの慣例にとらわれず、とにかく試行錯誤しながらやってみようと思ってきました。

最初に取り組んだのは、本部業務の効

率化です。平日に集まる定例会議をやめ、必要な時にだけ、土曜日など集まりやすい日時を設定するようにしました。普段の連絡は情報共有ツールを活用します。本部役員のLINEグループを作り、文書作成はオンラインでデータを共有し意見交換や校正をします。学校に書面をチェックしてもらう際も、メール等のやり取りで行うようにしました。会員への情報提供は、今年度から神戸市が本格導入した学校連絡システム「すぐーる」のPTAチャネルを利用しています。これまで人数分を紙に印刷して生徒に配布していたPTAだよりなどの文書の多くを電子配信にすることで、紙資源の節約と本部業務の大幅な軽減ができました。また電子配信の利点として、カラー写真をたくさん入れたPTAだよりも発行できるようになりました。長引くコロナ禍の影響で、ボランティア募集や運営委員会の実施など開催を断念した活動もありましたが、今後状況を見ながら少しずつ充実させることができると願っています。

〈今後PTAは無くなるのか?〉

PTAはもはや不要ではないか、という意見もあります。近隣の中学校でも、PTAを解散し「保護者会」や「親の会」に移行する学校も出てきました。新型コロナウイルス感染症の拡大によって突如始まった一斉休校とともに、このPTAも活動を休止せざるを得ない状況になり、学校

再開後も集まることを控えたため、活動は縮小していききました。そして図らずも「例年通りの活動をやめても実は問題は無い」という事実を知ることとなりました。コロナ禍によって、これまで当たり前だと思っていたPTA活動の本質が問われ、これを機に改革を進めようという流れが全国各地のPTAに起きています。

ではPTAは無用となったのでしょうか。決してそうではありません。PTAは、未来を担う子どもたちの教育環境を整え支援するという大切な使命を持っています。P（親）だけでなくT（教師）も一緒にになり、互いに責任の一端を担いつつ活動する組織としてのPTAは、もうしばらく必要とされているのではないかと思います。PTAは総会や規約を持つ団体として、自治体や地域から依頼される役割も依然としてありますし、場合によっては学校や教育委員会に保護者としての意見を伝えるという重要な役割も担っています。また、これまでの積立金や会費の繰越金の使途など、PTAとして最後まで責任をもって果たすべき具体的な課題も残されています。活動のスリム化・効率化をさらに進めつつ、自発的かつ自律的に子どもたちの学校生活をサポートできるPTAという体制を、当面は維持していくことが良いと考えています。神戸市教育委員会が推進するコミュニケーションスクール（学校運営協議会を設置した学校）がよいよ具現化され、保護者や地

域住民がより主体的に学校運営や教育活動に参画できるようになった時に、PTAは現在のような組織としての役割を終えることになるのかもしれませんが。今後のPTAのあり方についての議論は、次代のPTA会員の皆さんに期待しつつ委ねたいと思います。

〈終わりに〉

今回は貴重な同窓会会報の紙面を割っていたいただき、変わりつつある歌敷山中学校PTAの現状と課題を紹介させていただきました。時代の変化の流れはますます速くなっているように感じます。PTAに限らずあらゆる団体や組織は、今後色々な意味で変化が求められていくことでしょう。これからも同窓会員の皆さまのご指導ご鞭撻を賜りながら、我が子の母校となる歌敷山中学校の発展のために、柔軟で創造的なPTA活動をしていきたいと願っています。最後に、山口同窓会長が先日紹介されていた、アメリカの神学者ラインホルド・ニーバーの祈りの言葉をここに引用して、本稿を閉じたいと思います。

『神よ、変えることのできないものを静かに受け入れる力を与えてください。変えるべきものを変える勇気を、そして、変えられないものと変えるべきものを区別する智恵を、私たちに与えてください。』

母校部活動活躍状況

◆部活動 実績一覧

令和三年三月から十一月までの顕著な成績を紹介いたします。同窓会からは祝福と激励を頂いており、心より感謝とお礼を申し上げます。

〔水泳部〕

七月

第六十一回神戸市中学校総合体育大会

男女総合の部

〈男子〉

五〇m自由形

一五〇〇m 自由形

〈女子〉

女子総合の部

八〇〇m自由形

四〇〇m自由形

二〇〇m平泳ぎ

一〇〇m平泳ぎ

一〇〇m平泳ぎ

一〇〇m平泳ぎ

第一位

第三位

第二位

第一位

第一位

第一位

第一位

第三位

第一位

第三位

七月

第六十五回兵庫県中学校総合体育大会

〈女子〉

女子総合の部

八〇〇m自由形

四〇〇m自由形

二〇〇m平泳ぎ

二〇〇m平泳ぎ

二〇〇m平泳ぎ

二〇〇m平泳ぎ

一〇〇m平泳ぎ

四×一〇〇mメドレーリレー

四×一〇〇mメドレーリレー

四×一〇〇mフリーリレー

四×一〇〇mフリーリレー

四×一〇〇mフリーリレー

四×一〇〇mフリーリレー

四×一〇〇mフリーリレー

四×一〇〇mメドレーリレー 第一位
四×一〇〇mフリーリレー 第三位

第一位

第一位

第一位

第二位

第二位

第二位

第二位

第四位

第四位

第四位

第三位

第一位

第一位

第四位

第四位

第四位

八月

第七十回近畿中学校総合体育大会

〈女子〉

女子総合の部

八〇〇m自由形

四〇〇m自由形

二〇〇m平泳ぎ

二〇〇m平泳ぎ

第四位

第一位

第二位

第三位



八月

第六十一回全国中学校体育大会

(女子)

八〇〇m自由形

第五位



〔サッカー部〕

七月

神戸市総合体育大会

第三位

八月

第二十七回兵庫県ユース(U-15)

フットサル大会神戸市予選

優勝

(県大会出場)

九月

JFA第二十七回全日本U-15

フットサル選手権大会兵庫県大会

第三位

十一月

第七十二回神戸市中学校

新人サッカー大会

第三位

〔ソフトボール部〕

七月

第六十一回神戸市中学校総合体育大会

準優勝

(県大会出場)

十月

第七十二回神戸市中学校

ソフトボール大会

優勝

(県大会出場)

〔ソフトテニス部〕

三月

ルーセントカップ 団体の部

優勝

十月

第三十七回 神戸市ソフトテニス

新人大会 個人の部

ベスト16

(県大会出場)

七月

第六十一回神戸市中学校総合体育大会

第三位

十一月

兵庫県指定強化選手

【剣道部】

七月

神戸市剣道新人大会

男子の部

ベスト8

(県大会出場)

女子の部

ベスト8

(県大会出場)

【吹奏楽部】

七月

第六十八回兵庫県吹奏楽コンクール

第四十四回神戸地区大会

中学校A部門

金賞

【放送部】

七月

第三十八回NHK杯全国中学校放送

コンテスト兵庫県大会

ラジオ番組部門

佳作

【家庭科部】

九月

第六十五回神戸市立技術・

家庭科作品展

青少年科学館賞

環境賞



【陸上】

九月

神戸市中学校陸上競技新人・

選手権大会

三年男子一〇mH 15秒90

第二位

十月

神戸市総合スポーツ大会

男子中学一〇mH

第二位

【柔道】

十一月

第六十八回神戸市新人柔道大会

男子 五十五kg級

準優勝

歌中歌壇

広報委員会では、ご希望あれば短歌などを掲載する事にしました。

九回生 南部 直敏

オムライスの卵の如よ二日から

「今年も古希」とお女将にっこり

せせらぎを好みし母と会えるかも

雪解けの川の夢をまだ見る

同窓の家の軒には燕の巣

今年も絆持続するかも



十七回生 高杉 優子

コロナ下に学ぶ中学生の一年を思い
て(禍を使わず)

春(始業式)

手を挙げて

駆け寄る子等に花笑う

夏(プール)

碧空の

白雲追って背泳ぎす

秋(学び)

家の灯の

消えゆく夜寒に子等励む

冬(休み時間)

たあいなき

話の窓辺小春なる

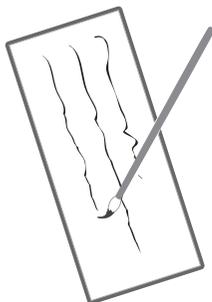
卒業を祝す

卒業子

「はい」の一声や鳴り響く

十七回生 三田 雄策

城崎で初めて読んだ志賀直哉
今 生きている喜びをしみじみと知る



三回生投稿

❖「歌敷山中学校在学中の

やまざまな思ひ」

三回生 青木 公輔

私は当時葺合区にあった雲中小学校卒、葺合中学入学、転宅のため一カ月で歌中の前身舞子中学校へ移りました。(一年B組清沢千代先生、担当国語、渾名はペンギン)昭和二十四年五月八日は舞子中学校遠足の日で翌日からの入学でした。一年二組は二部授業で午後出だったので十二時半に校庭に集まるようにとの小島一次先生の言葉でした。私と同じ日に舞子中学校へ入学したのは私の他にもう二人いました。三学期から霞ヶ丘と舞子が合併して歌敷山中学校が誕生、舞子三クラス、霞ヶ丘九クラス、計十二クラスで私は一年K組谷口善之先生(担当理科)渾名はカニで職員室から受持つ教室へ来る時いつも横に歩いているから。さてここからが私の大好きな『二年G組戎谷豊子学級(担当家庭科)』先生真さが全然なく竹を割つ

たような性格で、生徒からとても好かれていました。二年G組がスタートして間なしに生徒全員が「エビスタニセンセイなんて長つたらしいからエベツサンでええやる」と云えば「その代り毎朝ホームルームの時間に君らの名前にサンを付けると時間かかってしょうないから呼び捨てにします。サン云うてほしかったらあとで職員室へ来たらサンサンサンと四十回でも五十回でも云うたげるから」と云った。私は出席番号一番だから「青木さん」と云ったあとと想い付いたように前記の事を云ったので、出席番号一番でえらい得したような気がした。二年G組をもじって『虹の会』というのを作り私が幹事に成って卒業、後何席も二年G組は集まりましたが戎谷先生は十七年ほど前に他界されたのは本当に残念です。出席番号一番で得をした事がもう一回あります。それは卒業式の時三年A組(田中敬蔵先生、担当珠算)で一番だったので「青木公輔以下六九七名」と司会の先生が云ったのをおぼえています。

昭和二十七年十二月十九日が私の祥月命日に成りそうな大事故が起こったので

す。時刻は八時二十六分でした。西舞子駅少し東の無人踏切で、私と大谷一郎、島岡勝両君が登校していて、上り貨物列車が通過してすぐに飛び出したら下り貨物列車がすぐそば迄来ていて撥ねられ即死でした。その日の神戸新聞夕刊には『師走に悲し死の登校』という記事が一面に大きく載りました。私は警察へ行って「君が突いたんとちがうか」と何度も執こく取り調べられました。私の歌中時代の想い出はざっとこんなものです。大谷、島岡両君に合掌して筆をおきます。

因みに現在三回生の世話役をしている吉岡昭一郎二年G組で同じクラス、永井昭夫は三年A組で同じクラスでした。



褒章受章者の紹介

◆二〇二一年度 文化功労者

一回生 松岡 享子 氏

歌中一回生の松岡享子さんが二〇二一年度の文化功労者のお一人に選ばれ、十一月四日に東京都内のホテルで顕彰式が行われました。童



話『くまのパディントン』シリーズ、『しろいうさぎとくろいうさぎ』等を翻訳、『とこちゃんはどこ』、『なぞなぞのすきな女の子』等を創作し、手掛けた児童書は二〇〇冊以上。半世紀余りにわたって子どもたちを豊かで奥深い本の世界にいざなってくられました。また岩波新書『子どもと本』や評論集『サンタクロースの部屋』等の著書や全国での講演活動（母校でも講演されたことがあります）を通して、子どもたちと向き合う大人に対しても熱心に語りかけてくれました。この分野単独では初の文化功労者に選ばれ、現在名誉理事長を務められる「東京こども図書館」ホームページのメッセージで

こう述べておられます。



「地球上に難問が集積し、その解決に人智を結集する必要が生じている現在、わたしたちが頼りにするのは、なんとといっても未来のポテンシャルをもった子どもたちです。彼らがそのポテンシャルを最大限にのばし、果敢に難題に向かつて、その解決にすんでくれるように祈らずにはいられません。そのために、ひとりひとりの子どもが、しっかりと集積された、人類の智慧がある文学作品から多くを吸収し、将来へ向けて生かすことが望まれます。そのために子どもが読書によって自力をつけることは、ますます大事になります。」

松岡さんは神戸女学院大学を卒業された後、日本で初めて図書館学科が開設された慶応義塾大学で再度学ばれました。さらに渡米しウエスタン・ミシガン大学

大学院で児童図書館学専攻ののち、ボルティモア市公共図書館で司書としての実務経験を積まれました。帰国後は大阪市立図書館勤務、自宅で家庭文庫を開き、一九七四年には石井桃子らと共に財団法人東京子ども図書館を設立するに至ります。

松岡さんが見すえるのは読書文化のさらなる飛躍です。先のメッセージは「このたび、わたしが選ばれたことにより、多くのこころざしのある若い人たちが、子どもの読書活動の発展と普及に力をつくして下さることを願っています」と結ばれています。

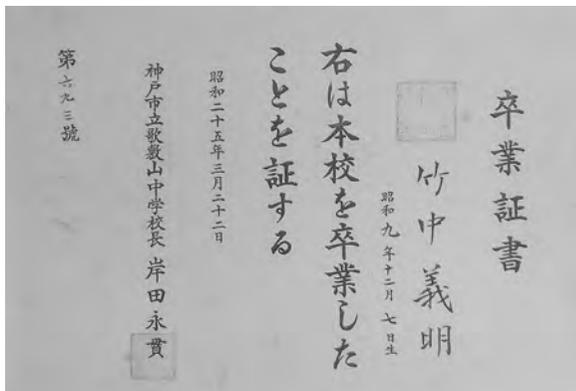
※その後、松岡享子様は令和四年一月二十五日に逝去されました。心からお悔やみ申し上げます。



紙 上 作 品 展



「思い出 修学旅行」
竹中 義明（1回生）



「思い出 卒業証書」 竹中 義明（1回生）



「テーブルセンター」 藤村 洋子（6回生）



「秋彩 福島県裏磐梯」
第28回垂水写真作家協会会員展
大和 啓子（7回生）



「襖に鹿」 林 佐名哉（7回生）



「はばたく鶴」 林 佐名哉（7回生）



「飛鳥のスケッチ」
2021 年全国読売写真クラブ展
井上 基子（8回生）



「つまみ細工」 坂口 綾子（8回生）



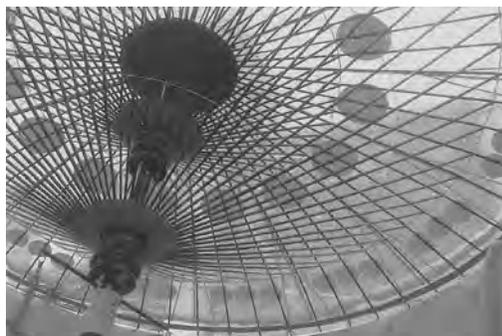
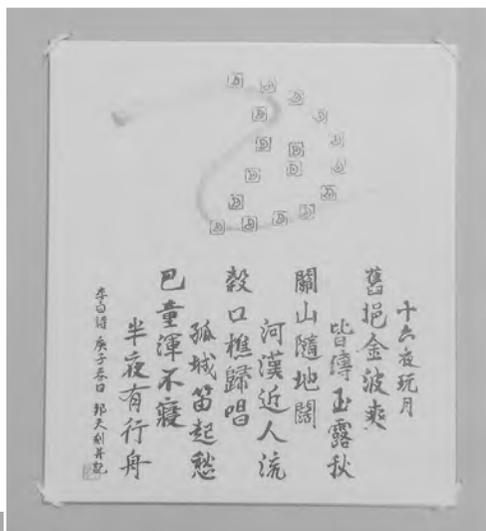
「式服ドレス」 平沼加代子（15回生）



「沖縄 本部島」 石岡 宗樹（17回生）



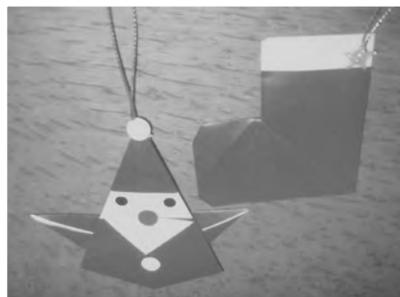
半世紀前の作品「押し絵 兜」
奥野真由美（17回生）



「綾傘鉾」
 垂水マスターズクラブ第7回写真真展
 岡田 邦夫 (17 回生)



「篆刻」
 コープカルチャー西神戸作品展
 岡田 邦夫 (17 回生)



阿部 洋子 (17 回生)



「サマーヤーンセーター アンサンブル」
 真期 晴代 (17 回生)



「マスコット人形」 真期 晴代 (17 回生)



「コギン刺し」 高杉 優子 (17回生)



「シャドウボックス」
高杉 優子 (17回生)



「古稀 大淫の書」
2021年11月 原田の森ギャラリー
座本 大淫 (17回生)



※コロナ感染防止のため学校行事に参加できず静かな活動状況を紙上作品展とする。 同窓会会長 山口 雅登

*同窓会近況報告・メッセージ (令和3年)

2021年11月末現在

1	1回生 K組	竹中 義明	御逝去の報に接し、元気だった前会長濱田豊機さん、理事の伊藤宏さんの姿が思い起こされ、信じられない気持ちです。ご生前のご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。今年(R4年)、米寿を迎えます。年相応に元気で過ごしております。
2	2回生 E組	祖多佳代子	自立して普通に生活出来て居る事は感謝です。同級生も割と元気にして電話等で連絡しながら無事を確かめています。主人と二人で生活している方々も少しになりましたが、幸い子や孫が度々電話くれます。
3	3回生 A組	青木 公輔	改めて原稿用紙にたっぷり記します。思い出話は山程有りますのでお楽しみを。(別途掲載)
4	3回生 B組	山下 英世	何とか元気で過ごしています。
5	3回生 B組	吉岡昭一郎	3回卒の84歳 吉岡昭一郎ですが、濱田豊機前会長、6回生の伊藤宏様の訃報を知り残念。3回原田君も他界し淋しい限りです。ご冥福をお祈り申し上げます。
6	3回生 C組	林 照夫	コロナ被害の収束を願いながら適度の運動を毎日続けて元気に過ごしています。
7	3回生 E組	有井 正綱	生き残りし者も少なくなり音さた少なし、卒業生。
8	3回生 G組	那須 悦子	85歳を過ぎれば足腰が悪く外出が難しくなって参りました。長引くコロナのため精神的にもしんどいさざりです。皆様のご健康をお祈りいたします。
9	3回生 H組	田中 昌子	コロナ禍が収束し平穏な日常生活がもどることのみ祈りつつ、一日一日を大切に感謝して生きております(85歳)。
10	4回生 B組	亘 弘子	おかげさまでコロナに負けず過ごしています。NHK学園で学び直し?の学習をしています。新しい学習。毎日ワクワク楽しく元気に過ごしています。レポート、試験にも挑戦!古い学ぶのもいいものです。
11	4回生 B組	山上 俊夫	オカリナとコーラス各クラブに参加し楽しんでおります。
12	4回生 F組	荒井登志子	結婚して(昭和34年4月)名古屋に住み続けています。84歳で元気にしています。
13	5回生 A組	神部 元成	又、オミクロン大変ですね。再会出来る事を願います。バドと畑仕事頑張ってます。
14	6回生 A組	尾崎 茂子	進学先が就職先となり、その所在地である吹田市に63歳で定年退官した後も、住み続けております。年と共に同窓会への出席が難しくなってしまうました。(同期の伊藤宏さんが亡くなられた事を「同窓会中止のお知らせ」を読み知りました。心よりお悔やみ申し上げます。)
15	6回生 A組	牟田口昌彦	コロナウィルスへ感染しない様に旅行や外出は控えておりますが、月に2、3回のゴルフをして元気に過ごしております。同窓会の益々の発展を祈念しています。
16	6回生 D組	橋原美知子	元気しております。コロナが落ち着いて友達と行き逢える様になればと思っています。
17	6回生 E組	兎新 善夫	コロナ禍で皆さんはいかがお過ごしですか。私は最近、腰と膝にガタが来ました。昔は、走ることに自信があったのですが、今はその自信も無く、小さな家庭菜園で頑張っており、日々穏やかに過ごしております。

18	6回生 E組	小林 啓子	色々な故障と付き合いながら、楽しく日々を過ごしています。
19	6回生 E組	伊達 愛子	只今同窓会からのお知らせを拝見し、同期の伊藤宏さんのご逝去を知り驚いています。今年初め頃は、今年も同窓会のお手伝いは頑張ります、といただいていたました。ご冥福をお祈りいたします。
20	6回生 G組	今井 功	6回生の同期会の世話役を永年勤めていただいた伊藤宏君が亡くなられました。今年初めの便りでは、同窓会本部の役職は離れたが、わが6回生同期会の世話役は今後も続ける所存であり、次期同期会のタイミングと大義名分を模索していると書かれていただけに、今回の訃報には驚きました。ご冥福をお祈りします。
21	6回生 G組	渡辺 豊	現在82歳、18歳で神戸を離れ、皆様と接触する機会がなくなりました。本会の発展を祈念しております。
22	7回生 D組	林 佐名哉	兵庫県はコロナ宣言で自粛していましたが、解除されてイザ、マイコートへと、ゲートボールにグラウンド・ゴルフといろいろな行事に参加したいと思っています。
23	7回生 E組	片山三知子	老々介護で面白い（まとはずれの）会話をしながらすごしています。
24	7回生 F組	黒島 陸枝	新鮮な野菜、豆作りに頑張ってます。お陰で元気です。
25	7回生 F組	山上 淑子	濱田豊機様、伊藤宏様ご冥福をお祈り申し上げます。私は今一人暮らし、毎日早朝5:30より約30～40分散歩し、朝昼夜の食事、10時3時のおやつもしっかり食し、元気に趣味の手芸、パズルを楽しんでおります。
26	8回生 A組	北畠 哲夫	元気でやっています。コロナにも負けず。
27	8回生 A組	坂口 綾子	皆様と楽しく集える日が早く訪れるよう楽しみにしております。
28	8回生 B組	喜多 嘉男	毎日、ウォーキングを楽しく頑張っています。
29	8回生 C組	森田 勲	身体もだいぶガタが来ましたが、いたって元気に過ごしております。コロナ終息の後一日も早い総会開催願っております。
30	8回生 D組	下里 尚信	コロナ嵐がすぎる迄、巣籠りしています。
31	8回生 H組	藤井 靖之	健康とっていますが、年1回の検診で引っかかっていますが、そのまま診てもらわなくてもOKのようで喜んでます。
32	8回生 I組	早川 弘子	同窓会もなかなか開催されず残念です。でも東京ではコロナ感染者が2ケタとなり、かなり嬉しいことです。あとしばらくですネ。皆様とお目にかかれる日を楽しみにしております。
33	9回生 B組	沼館 廣彦	各種の活動が再開されて忙しくなりそうです。元気が出てきました。早速年末忘年会のおさそいがきました。楽しみです。
34	9回生 E組	浜野 元一	元気にすごしています。
35	9回生 G組	東山 彰子	何とか元気にしています。
36	9回生 H組	左 吉宏	垂水、霞ヶ丘に居付いて74年。体力維持の為グランドゴルフと毎日歌敷山公園でラジオ体操をしアジュール舞子迄のウォーキングを続けています。
37	10回生 J組	田中 正剛	孫が歌中の2年生です。
38	11回生 A組	竹崎 壽子	新型コロナウイルスで世の中大変ですね。一日一日をすこしでも楽しく過ごせたらうれしいです。

39	11回生 B組	北川 守	元気に自粛生活を過ごしていますが、つくづくとコミュニケーションの大切さを思い知らされています。併せて経年につれて同朋、先輩との別れが増えるのが切ないこの頃です。歌中、いつまでも栄えあれ！！
40	11回生 D組	柏木 悦子	早くコロナが終ることを祈ります。現在のところは元気に老人会また稽古事等で頑張っています。
41	11回生 D組	牧野千鶴子	こんにちは、卒業して早や62年ですが、コロナで皆様に会えないのが残念です。シニア会でも会えなくて（皆様）早く会いたいですネ。
42	11回生 D組	山本寿美子	同期の濱田豊機さんが亡くなられたとのお知らせに驚いております。ご冥福をお祈りいたします。
43	11回生 F組	鈴木茉由美	「訃報欄 今日又ひとり凍星（いてほし）に」著名人が昨今毎日のように旅立って行かれます。私達と余り離れていない方達なのに。淋しい事です。あと少し、あと数年好きなコーラス続けます。後になりましたが亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げます。
44	11回生 H組	中井 峯生	元気です。
45	11回生 H組	山下 和代	コロナ禍でお会い出来ずにいる中、前会長の濱田氏、前理事の伊藤氏の訃報を受け取り残念で仕方ありません。ご冥福をお祈りいたします。私は義母の介護でバタバタしておりますが、元気しております。
46	11回生 I組	藤井 英明	シニアカレッジに通いながら出勤もしています。
47	11回生 I組	安田 篤行	コープのお弁当マイケルの配達を始めてからもう8年になりますが、定年が80才なので後2年半。がんばってやるつもりです。ボケ防止と健康面でプラスになっています。
48	13回生 3組	坂口 邦彦	各種ボランティア活動で元気になっています。同窓生皆様のご健勝をお祈りいたします。
49	13回生 3組	竹内 信子	コロナワクチン接種も6月に無事に済ませる事も出来ました。
50	14回生 6組	河野 和子	コロナ禍ですが、細々とホテルの幼虫放流、ホテルの集い、公園のあじさい植栽、手入れ、掃除・・・と活動を続けています。来年の6月末から7月にかけて名谷町中山の「転法輪寺」に舞うホテルの姿を見に来て下さい。
51	14回生 13組	赤松 雅人	コロナ以外は平穏な日々です。
52	15回生 5組	玉中 光雄	体調不良で自由に外出できない状況です。なんとかかやっています。
53	15回生 5組	中村 光政	元気になっています。コロナ禍での総会中止は残念ですが、又皆様に会えることを楽しみにしています。
54	15回生 7組	永来 静夫	2年前に発症したパセドー病の影響で目の方にきて、過去3回入院しました。今月再度入院して手術の予定です。多分最後の手術だと思っています。体は元気で、空手協会に元気に週2～3回通っています。
55	15回生 7組	平沼加代子	知人に90歳迄私生きるわ！と言ったら、100歳までにしといた方がよいよ！そしたら90歳以上生きられるからね。今年は着物を出来るだけ着ようと思っている。今の内。たんすのこやしにはしない。美しく年を重ね様ね、皆様！

56	15回生 9組	西島すみ子	孫達の活躍、成長に感動したり、趣味を楽しんで過ごしております。
57	15回生 12組	岡田 英男	2020年で完全リタイアし、遊び人です。趣味の社交ダンスで、健康維持に努めています。早く日常が戻って、同窓会が開かれる事を願っています。
58	16回生 12組	松下 秀樹	昨日72才になりました。70才以降になって健康年齢であるのだなと実感しています。若い積りでしたが、これから維持に努めます。
59	17回生 1組	座本 芳博	書家「古希・大汪の書」を古希記念として原田の森美術館2階大展示室にて開催します。11月5日～11月7日まで。
60	17回生 2組	吉森 和子	主人は、断酒11年。私の病もあり毎週2人で通院。ドクターやスタッフにめぐまれ、病院での断酒会や家族会に楽しく参加。先日、膝が「レベル4手術段階」の宣告。見た目年齢100越え。鏡には「かわいいよ」と言ってやる。皆様もごきげんよく。
61	17回生 2組	岡田 邦夫	はやり病の為、お酒を飲みに行けませんでした。そのため一人で映画に行ったりDVDを見たりと過ごしていました。みんな早く飲みに行こう！！
62	17回生 3組	阿部 洋子	元気でボランティア活動に参加しています。
63	17回生 3組	大橋 邦夫	今はコロナ禍、粛々と年金生活を、またゴルフ人生を送っております。
64	17回生 3組	藤本 純子	コロナ禍でいろんな制約を受けながら、社協の支援を得てボランティア活動を始めましたが、ヒザの故障で皆さんに助けていただいています。濱田さんと伊藤さんの訃報には驚きました。近所ですので偶然お会いする事もあり、会報では伊藤さんには特にお世話になりました。同窓会設立当時の苦労話を1回生、2回生の方々からお聞きする度に、その経緯の重要性と共にいろんな方々の想いを大切に同窓会活動に生かせればと思います。念願のHPが開設されると交流の場が広がり、各地で各回生の活動状況が報告されるのを楽しみにしています。
65	17回生 4組	鳥井田剛一	私の提唱した舞子小学校昭和38年3月卒業生の古希祝い同期会が2年続けて延期となりましたが、コロナ終息後、開催致しますので関係者の皆さんお待ち下さい。又、この同期会に関心のある方は鳥井田までご連絡下さい！ TEL・FAX (06) 6416-7014
66	17回生 4組	山際 丈	ホームページのリニューアルが出来ました。同窓生の皆様の活用をお願いします。私事では、この歳で初孫が出来ました。体力的に孫守りは無理です。
67	17回生 5組	生方 享司	塩屋でクリニックを開業して30年を過ぎました。そろそろ引退の準備をしています。
68	17回生 5組	阪口 礼子	夫が今年2月に永眠し、今は12歳のダックスフンドと毎日を過ごしています。
69	17回生 6組	桑原 仁志	元気に楽しくシニアライフを過ごしています。
70	17回生 6組	三田 雄策	あいかわらず唯我独尊で余生を楽しんでいます。皆様も「呑む、書く、唄う」を忘れぬようにー！

71	17回生 6組	真期 晴代	2000年よりウォーキンググループに入り21年。月2回、67才から80才までの年齢差もありますが、10人ほどで楽しく歩いています。コロナに負けず頑張りましょう。
72	17回生 7組	前田喜美子	平穩に暮らしています。
73	17回生 7組	伊藤 博	自宅横を通る相模川右岸堤防道路のウォーキング&バードウォッチングを週5回程度続けており元気になっています。
74	17回生 7組	富士 健二	市民花壇の世話と民生委員の活動は、コロナ禍でもやり続けています。
75	17回生 9組	市川 隆司	70歳を越えまして、体力維持に気をつかうようになりました。皆様もご健勝であられますようお願いいたします。
76	17回生 10組	川口 勝	只今療養中
77	17回生 10組	西村 清矢	2021年8月出港予定のクルーズは中止になり、2022年8月出港予定!!世界一周北周り(スエズ運河、パナマ運河通過)。
78	17回生 12組	泉 光多郎	毎日孫の子守りで大変です。元気にやっています。
79	18回生 13組	櫻井須美夫	元気で仕事がんばってます。
80	19回生 4組	柴木 恒	元気にすごしております。令和4年は古希となりますので集まりたいです。
81	19回生 8組	塩谷 隆則	今年3月に4社の役員を全て退任し、また新たな目標を見つけてスタートしました。
82	20回生 4組	森崎 俊夫	コロナ禍ではありますが仕事も続けて元気で頑張っています。早く以前の生活環境になることを祈っております。
83	20回生 5組	中原 憲造	4人目の孫にびっくり。長女の第二子(長女)は1歳4ヶ月。もう机に座ってロリロリから丸丸を色鉛筆で書いている。外にできれば親をおいてスタスタ。なんか自信タップリ。
84	22回生 3組	鳥羽 淳詞	(株)神戸新聞会館特別顧問
85	24回生 4組	林 隆嗣	現在、高齢再雇用フルタイムで神戸中央郵便局に勤務して、区内全域をかんぽ生命保険の集金と営業で、毎日必死のパッチでやっています。65才まであと1年たらずですが悔いのないようにやりきります。令和4年4月からかんぽ生命に出向予定です。
86	26回生 6組	酒井 丈子	皆様お元気ですか? with コロナから2年を経過するのに未だ情報に右往左往の毎日です。あっという間の2年でしたが、とりあえず元気に孫守り&パートに励んでいます。今いる自分の場所で精一杯頑張りましょう………しかないですね戸
87	29回生 2組	加藤 成久	(社福)神戸聖隷福祉事業団に勤めています。
88	29回生 2組	関口比佐子	現在は小学校で児童クラブと交通指導員の仕事を継続しています。私の子供達も結婚をして、まごやひまご達も近くにいるので楽しく生活をしています。一日も早くコロナがおちつき、みなさんと会えることができますように祈ります。
89	29回生 2組	松下 聡子	私達29回生は2022年度に還暦を迎えます。卒業して45年。皆さん、それぞれ様々な人生を歩んで来られたと思います。コロナ収束を願い、いつの日か29回生の皆さんと笑顔で再会できる事を楽しみにしています。

90	29回生 7組	河内奈緒美	来年は我々が還暦を迎える記念の年。コロナが落ち着いてみんな で集まれる事を願っております。
91	67回生 5組	小川 絃	現在、北の大地にて「よさこい」をはじめとする「お祭り」を 大学のサークルとして活動しております。来年度は札幌雪祭りや YOSAKOI ソーラン祭りが開催予定とのことなので、コロナ禍で暗 く沈んだ日々「笑顔と元気」をお祭りを通して届けたく思います。 ぜひいらしてください。
92	69回生 6組	武田 史明	勉強を頑張ってます。

多額の寄付をありがとうございます

辻 宏治 様 (29回生) 山口 芳典 様 (9回生) 小柴 雅徳 様 (17回生)

再掲

【バレーボール部 OB・OG会 開催について】

30回生 中岡 達也

同総会員の皆さん、コロナ禍の中元気におすごしでしょうか？

今回バレーボール部のOB・OG会の開催を計画しています。私が在学中の顧問の先生は、男子部は浅野先生、加藤先生、西村先生で、女子部は古本先生、高橋先生でした。

歌中同窓会は、同期生の横の繋がりでは何回か行いましたが、部活毎の先輩・後輩の縦の繋がりでの同窓会は初めてなので、どのようになるか、またどれくらいの先輩、後輩の方々が集まって頂けるのか、まったくわかりませんが計画しています。

賛同される方、懐かしく思ってもらえる方が居られましたら一度連絡して下さい。元バレーボール者皆で集まり、懐かしい昔話で盛り上がりましょう。

下記にご連絡お待ちしております。よろしく願いいたします。

<連絡先>

30回生 中岡 達也

mail:t.nak.kan.380730+VOLLEY@gmail.com

*又は同窓会本部 山口までお問い合わせ頂いても結構です。

TEL:078-302-9093 (自宅) mail:tom-miki@topaz.ocn.ne.jp

*物故者 (お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げます)

(1回生 F組) 松岡 享子

(8回生 A組) 森 吉正

(1回生 K組) 辻元みさ江

(11回生 I組) 濱田 豊機

(3回生 C組) 岩佐 利彦

(14回生 2組) 清水 信子

(3回生 H組) 三木 寛

(15回生 16組) 岩田 憲二

(3回生 J組) 北谷 信也

(16回生 3組) 大塚 繁雄

(6回生 A組) 伊藤 宏

(18回生 10組) 井上 幸子

(6回生 B組) 久保 廣見

(19回生 11組) 廣岡 隆昭

(6回生 F組) 大西 芳子

◆二代目会長 濱田氏を偲び

十一回生 藤井 英明

突然の訃報に驚きました。同窓会監事の酒井康夫さんから、濱田豊機君が四月一日に亡くなられたとのメールを受け取りました。全く突然の知らせでお悔やみにも思いましたが、コロナ禍にあつて残念ながら叶いませんでした。

濱田君とは歌中十一回生、星陵十五回生と同期生で、彼が高校時代にA F Sの留学生として渡米するときも神戸駅まで見送りに行ったことを覚えています。高校卒業以降は何かと同窓会の世話を共にするようになりました。

平成十年になり、濱田君から竹中義明会長の後を受け継ぐ事になったので協力してくれないかと相談を受け、私が副会長をお受けする事になりました。

平成二十一年の総会前に、肺気腫を患いお見舞いに行きましたが、出席できないので会長代理を務めて下さいとの事もありました。そのあと濱田君は平成二十七年に現会長の山口雅登さんにバトンタッチするまで十七年間に亘り尽力されまし

た。本当にご苦勞様でした。そしてありがとうございました。どうぞございました。

現在も続いています同窓会総会の開催方式は彼が導入したものでした。その他の行事も積極的に取り入れ、今日の同窓会の発展に尽力されました。

彼が各式典で挨拶されるたびに「人類愛」を説かれていたのを思い出します。敬虔なクリスチャンでした。

昨年に電話で話したのが最後になりましたが、友人として掛け替えのない思い出がありがとうございました。また、天国で同窓会をしましょう。本当に心からありがとうございます。どうぞ安らかにお眠りください。



◆理事 六回生 伊藤氏を思い

六回生 藤村 洋子

私達六回生は総会に顔を合わすだけでしたが、卒業六十周年記念同期会を開催するにあたり、伊藤君、西野さん、服部さんを中心に準備のためその一年前から垂水の喫茶ブラジルで毎月集まり一層仲良くなった気がします。一組二名ずつ、二十名くらいでしゃべりしながら楽しんだのを思い出します。卒業六十五周年記念同期会開催を楽しみにしてましたが、コロナで延期になり、そろそろと思っていた矢先でしたので、とても残念です。いろいろお世話して下さいありがとうございます。



◆◆◆◆◆
母校・同窓会のあゆみ
 ◆◆◆◆◆

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------|---------------|--------------|-------------------------|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------|--------------------|---------------------|--------------|--------------|---------------------|---------------------|------------------------|-------------------------|--------------------------|----------|---------|
| 47・3 | 46・4 | 42・3 | 41・4 | 40・4 | 39・8 | 38・4 | 37・4 | 36・3 | 35・3 | 33・8 | 32・8 | 31・4 | 27・4 | 26・9 | 25・5 | 24・11 | 23・3 | S22・4 | |
| 4号館鉄筋校舎完成 | 藤原隆夫教頭着任 | 水野一也教頭着任 | 舞子中学校独立分離 | 第5代校長 松井富左一郎着任 | 中藤光夫教頭着任 | プール建設工事成済 プール開き | 第4代校長 丹羽泰行着任 | 第3期鉄筋校舎(1号館)増築完成 | 第4期鉄筋校舎(9教室)現2号館完成 | 小川絢夫教頭着任 | 第2運動場完成 | 正門完成 | 柏木 武教頭着任 | 旧2号館(木造2階建)北パイプ教室焼失 | 第3期鉄筋校舎(1号館)増築完成 | 第4期鉄筋校舎(9教室)現2号館完成 | 小川絢夫教頭着任 | 第2運動場完成 | 正門完成 |
| 57・2 | 56・4 | 55・3 | 54・2 | 53・1 | 52・4 | 51・1 | 50・4 | 49・7 | 48・2 | 47・3 | 46・4 | 45・11 | 44・8 | 43・4 | 42・3 | 41・4 | 40・4 | 39・8 | |
| 増築校舎(5号館)並びに付属施設・設備の設置 | 旧2号館(木造校舎)の解体、撤去 | 第1運動場の防球ネット完成 | 第8代校長 高見興作着任 | 同窓会総会(母校講堂)同窓会規約改定(第1回) | 竹中義明(1回生)会長に就任 約100名の卒業生並びに職員参集 | 同窓会総会(母校講堂)同窓会規約改定(第1回) | 奥村賞記念碑「よい歯を生涯保健のために」の除幕 | 奥村賞推薦賞を受賞 | 第7代校長 細見英太郎着任 | 歌中の合いことば・生活信条プレート完成 | 同窓会再建準備委員会発足 | 全日本PTA会長表彰受賞 | 文部大臣賞受賞記念岩石園、日時計の完成 | 全日本よい歯の表彰 10回連続表彰 | 創立30周年記念カプセルを第1教材園に埋める | 「奉仕」の道・憩の広場、岩石園、英知の泉の完成 | 創立30周年記念式典 学校保健、文部大臣賞を受賞 | 鷹津郁朗教頭着任 | 市民図書館開設 |
| 5 | 8 | 12 | 11 | 12 | 10 | 9 | 8 | 7 | 2 | 3 | 6 | 9 | 9 | 8 | 11 | 7 | 4 | 4 | |
| 増築校舎(5号館)並びに付属施設・設備の設置 | 旧2号館(木造校舎)の解体、撤去 | 第1運動場の防球ネット完成 | 第8代校長 高見興作着任 | 同窓会総会(母校講堂)同窓会規約改定(第1回) | 竹中義明(1回生)会長に就任 約100名の卒業生並びに職員参集 | 同窓会総会(母校講堂)同窓会規約改定(第1回) | 奥村賞記念碑「よい歯を生涯保健のために」の除幕 | 奥村賞推薦賞を受賞 | 第7代校長 細見英太郎着任 | 歌中の合いことば・生活信条プレート完成 | 同窓会再建準備委員会発足 | 全日本PTA会長表彰受賞 | 文部大臣賞受賞記念岩石園、日時計の完成 | 全日本よい歯の表彰 10回連続表彰 | 創立30周年記念カプセルを第1教材園に埋める | 「奉仕」の道・憩の広場、岩石園、英知の泉の完成 | 創立30周年記念式典 学校保健、文部大臣賞を受賞 | 鷹津郁朗教頭着任 | 市民図書館開設 |

10・9	9・4	7・1	6・4	5・4	4・4	3・4	2・4	H1・4	63・4	62・4	59・4	58・4	11
11	4	11	4	11	10	9	7	4	7	8	4	11	11
母校創立50周年記念事業実施(白石市民会館) 一文字幕及び機械設備一式新設)	尾崎幸夫教頭着任 第14代校長 森本和彦着任 常深源三郎教頭着任	阪神・淡路大震災発生 講堂、正門周辺および校庭南側ブ ロック塀・フェンス・プールなどに被害 避難所設置 第4土曜日が休業日となる 尾崎幸夫教頭着任	同窓会総会(舞子ビラ) 第13代校長 安東 保着任	男子制帽の自由化 武道館落成式 中国天津市実験中学校と友好提携を結ぶ	天津市教育局訪日団来校 第2土曜日が休業日となる	後藤達人教頭着任 新しい髪型になる(男子長髪) 白倉 猛教頭着任	星陵台中学校独立分離 第12代校長 小野博正着任	岡田芳朗教頭着任 同窓会総会	市総体水泳総合優勝 第11代校長 松下正太郎着任	同窓会総会・母校創立40周年記念総会(舞子ビラ) 同窓会総会 坂本 繁着任	高木隆芳教頭着任 同窓会総会(母校講堂)	南門完成 第9代校長 陸井豊一着任	同窓会総会 ・母校創立35周年記念総会(母校講堂) ・同窓会会員名簿発行
6	4	11	8	4	5	4	4	4	9	9	4	4	11
2年生トライやる・ウィーク 歌中ふれあい懇話会 学校評議委員会	母校学校公開(桜の学校開放) 61回生入学式 第17代校長 岡本壽美英雄着任	同窓会総会11月4日(土)午後(舞子ビラ)開催 2年生トライやる・ウィーク 58回生卒業式、同窓会入会式	校舎耐震補強工事開始 歌中ふれあいランドゴルフ大会(中止) 体育会	母校学校公開(桜の学校開放) 60回生入学式 根岸恒夫教頭着任	同窓会総会(舞子ビラ)開催 59回生入学式 56回生卒業式、同窓会入会式	中溝茂雄教頭着任 同窓会総会(舞子ビラ)開催	第16代校長 角 孝雄着任 同窓会総会(舞子ビラ)開催	同窓会総会(舞子ビラ)開催 吉田純一教頭着任	同窓会総会(舞子ビラ)開催 1・4・5号館外壁補修完了	同窓会総会(舞子ビラ)開催 中村誠孝教頭着任	河本博行教頭着任 同窓会総会(舞子ビラ)開催	白井博美教頭着任 同窓会総会(舞子ビラ)開催	創立50周年記念同窓会総会(新装舞子ビラ) ・同窓会会長 濱田豊機(11回生) 新会長に就任 ・同窓会規約改定

- 7 母校PTA同窓会三者懇談会
 8 歌中ふれあいグランドゴルフ大会
 9 母校創立60周年記念事業実施(桜植樹、屋外時計柱改修等)
 10 母校創立60周年記念文化発表会
 11 同窓会総会11月10日(土)午後(舞子ピラ)開催
 12 同窓会総会11月10日(土)午後(舞子ピラ)開催
 13 59回生卒業式、同窓会入会式
 14 藤本昭宏教頭着任
 15 母校学校公開(桜の学校開放) 62回生入学式
 16 母校PTA同窓会三者懇談会
 17 歌中ふれあいグランドゴルフ大会
 18 体育会
 19 文化発表会
 20 同窓会総会 2年生トライやる・ウィーク
 21 60回生卒業式、同窓会入会式
 22 母校学校公開(桜の学校開放) 63回生入学式
 23 母校PTA同窓会三者懇談会
 24 2年生トライやる・ウィーク
 25 歌中ふれあいグランドゴルフ大会
 26 体育会
 27 文化発表会
 28 同窓会総会
 29 61回生卒業式、同窓会入会式
 30 第18代校長 阪田俊晃着任
 31 母校学校公開(桜の学校開放) 64回生入学式
 32 母校PTA同窓会三者懇談会 2年生トライやる・ウィーク
 33 歌中ふれあいグランドゴルフ大会
 34 同窓会設立60周年事業実施(歌中生合言葉・生活信条プレット改修、亮天功、石碑説明石板新設等)
 35 体育会
 36 文化発表会
 37 同窓会設立60周年記念同窓会総会
 38 62回生卒業式、同窓会入会式
 39 齋藤公普教頭着任
 40 母校学校公開(桜の学校開放) 第1回ホームカミングデー開催
 41 65回生入学式(二二五名入学)
- 6 母校PTA同窓会三者懇談会
 7 体育会
 8 文化発表会 同窓会総会
 9 1号館エレベーター工事完成、運用開始
 10 歌中ふれあいグランドゴルフ大会
 11 63回生卒業式、同窓会入会式
 12 母校学校公開(桜の学校開放) 第2回ホームカミングデー開催
 13 66回生入学式(一九八名入学)
 14 母校PTA同窓会三者懇談会
 15 体育会
 16 文化発表会 同窓会総会
 17 歌中ふれあいグランドゴルフ大会(雨天中止)
 18 64回生卒業式、同窓会入会式
 19 母校学校公開(桜の学校開放) 第3回ホームカミングデー開催
 20 前田隆彦教頭着任
 21 67回生入学式(二四八名入学)
 22 母校PTA同窓会三者懇談会
 23 陸上部(拠点校部活)、全国大会(男子共通四〇〇m)出場
 24 体育会
 25 文化発表会 同窓会総会
 26 歌中ふれあいグランドゴルフ大会
 27 65回生卒業式、同窓会入会式
 28 母校学校公開(桜の学校開放) 第4回ホームカミングデー開催
 29 1号館太陽光発電パネル稼働開始
 30 第19代校長 玉橋雅人着任
 31 68回生入学式(二二九名入学)
 32 母校PTA同窓会三者懇談会
 33 第1グラウンド改修工事
 34 体育会
 35 文化発表会
 36 同窓会総会
 37 66回生卒業式 同窓会入会式
 38 今井敬太教頭着任
 39 母校学校公開(桜の学校開放) 第5回ホームカミングデー開催
 40 69回生入学式(二二八名入学)
- 10 27
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 26
 11 3
 12 12
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 25
 11 3
 12 12
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 24
 11 3
 12 12
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 23
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 22
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 21
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 20
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 19
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 18
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 17
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 16
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 15
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 14
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 13
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 12
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 11
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 10
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 9
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 8
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 7
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 6
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 5
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 4
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 3
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 2
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4
- 10 1
 11 3
 12 4
 13 10
 14 9
 15 8
 16 6
 17 4

6	母校PTA同窓会三者懇談会	6	「神戸市立中学校部活動ガイドライン」策定、平日（水曜日）及び週休日（土・日曜日）の部活動緩和
8	水泳部、全国大会（男子二〇〇m・四〇〇m個人メドレー、四〇〇mリレー）出場	6	母校PTA同窓会三者懇談会
9	体育会	8	水泳部全国大会出場（女子一〇〇m・二〇〇m自由形）
10	文化発表会	9	第71回体育会
11	同窓会総会	10	第71回文化発表会
12	・同窓会会長 山口雅登（17回生）新会長に就任	11	同窓会総会
3	歌中ふれあいグランドゴルフ大会	12	歌中ふれあいグランドゴルフ大会
4	67回生卒業式 同窓会入会式	1	1号館・2号館トイレ改修工事竣工
6	母校学校公開（桜の学校開放）第6回ホームカミングデー開催	3	第70回卒業式 同窓会入会式
8	70回生入学式（二六三名入学）	4	沖憲治教頭着任
10	母校PTA同窓会三者懇談会	6	母校学校公開（桜の学校開放）第9回ホームカミングデー開催
11	放送部、全国大会（アナウンス部門）出場	8	母校PTA同窓会三者懇談会
12	第69回体育会	9	73回生入学式（二四六名入学）
3	第69回文化発表会	10	母校PTA同窓会三者懇談会
4	同窓会総会	11	水泳部全国大会出場（女子五〇m自由形・一〇〇m自由形・四〇〇mメドレーリレー）
6	歌中ふれあいグランドゴルフ大会	12	水泳部国民体育大会出場（女子五〇m自由形・一〇〇m自由形・四〇〇mリレー）
8	第68回卒業式 同窓会入会式	1	第72回体育会
9	第20代校長 前川志のお着任	2	同窓会総会
11	母校学校公開（桜の学校開放）第7回ホームカミングデー	3	歌中ふれあいグランドゴルフ大会
12	71回生入学式（二四二名入学）	4	第71回卒業式
1	母校PTA同窓会三者懇談会	5	第21代校長 藤原裕之着任
2	サッカー部、全国大会（熊本県）出場	6	74回生入学式（二二九名入学）
3	第70回体育会	7	第73回体育会（学年別）
4	第70回文化発表会	8	第73回文化発表会（一部中止）
5	母校創立70周年記念事業実施（英知の泉整備・浄水ポンプ3台更新、1号館障害者用トイレ整備 体育館舞台袖幕・文字幕取替）	9	第72回卒業式
6	同窓会総会	10	小笹美賀子教頭着任
7	・同窓会規約改定	11	75回生入学式（二五三名入学）
8	歌中ふれあいグランドゴルフ大会	12	第74回体育会・文化発表会同時開催
9	5号館改修工事竣工 多目的ホール新設・同ホールに大型スクリーン設置	1	
10	第69回卒業式 同窓会入会式	2	
11	吉田幸司教頭着任	3	
12	母校学校公開（桜の学校開放）第8回ホームカミングデー開催	4	
1	72回生入学式（二四二名入学）	5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	
8		12	
9		1	
10		2	
11		3	
12		4	
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	
5		9	
6		10	
7		11	

ホームページの更新について

同窓会事務局 山際 丈 (17 回生)

長い間休止していました同窓会ホームページが令和3年4月より再開しました。未だ、すべてのデータの更新は出来ていませんが、徐々にアップしていく予定です。

従来のは、事務局からの情報の発信のみでしたが、今回のものでは閲覧者の皆さまのご意見や情報のやり取りが可能となっています。

また、Facebook での送受信も可能とし、汎用性の高いシステムを目指しています。同窓生の皆さま、ぜひ活用くださるようお願いいたします。

同窓会ホームページは、8 回生の藪さんが、平成 22 年よりご自分で立ち上げられ広く活用されていましたが、ご高齢や体調を崩されたことにより、維持管理が困難となり平成 28 年に休止しました。つなぎのために、Facebook での情報提供をしていますが、容量や汎用性の問題から、ホームページでの情報の発信が重要と今回リニューアルしました。

トップページ

The screenshot shows the homepage of the Utagahiyama Junior High School Alumni Association. At the top left is the school's logo and name. The header contains navigation links: 会長あいさつ, 母校・同窓会の歩み, 同窓会規約, 卒業生数, 組織・役員, お知らせ. Below the header are three buttons: 個人情報保護について, 会報バックナンバー, and 母校・同窓会短信. The main content area features a large aerial photograph of the school and surrounding area. To the right of the photo is vertical text: 春草の萌え出す 窓の朝ぼらけ 仰びゆく生命輝やかに 音響史をいま語り あこがれの学び舎ここ あり 歌敷山. Below the photo is a '新着情報' (New Information) section with a notice: お知らせ 2021.3.19 ホームページをリニューアルしました この度サークル誌に伴い、歌敷山中学校同窓会のホームページをリニューアルいたしました。随時更新していきます。... Below the notice is a '一覧を見る' (View All) button. The footer contains contact information: 歌敷山中学校同窓会事務局 〒655-0037 神戸市東灘区歌敷山2丁目4-1 神戸市立歌敷山中学校内 TEL: 078-707-8864. It also includes social media icons for the school homepage, email, and Facebook, and a 'Page Top' button.

同窓会の歩み



UTSUNOYAMA HIGH CLASS REUNION
歌敷山中学校
同窓会

[会長あいさつ](#)
[母校・同窓会の歩み](#)
[同窓会規約](#)
[卒業生数](#)
[組織・役員](#)
[お知らせ](#)

[個人情報保護について](#)
[会報バックナンバー](#)
[母校・同窓会短信](#)

母校・同窓会の歩み

昭和22年

4月
霞ヶ丘中学校として発足。初代校長 岸田永真着任

昭和23年

3月
舞子中学校分譲独立

5月
本校を堺屋水中の跡に移す

昭和24年

11月
霞ヶ丘・舞子中学校を統合。歌敷山中と改称。現在地に新校舎(12教室)完成

昭和25年

5月
歌敷山中学校同窓会の発足と規約発表

8月
増築校舎(16教室)完成。新校舎に移る。垂水分教場に1年生が残る

昭和26年

9月
垂水分教場に新校舎(16教室)完成



昭和27年

4月
垂水中学校独立分譲。第2代校長 松岡敏郎着任

昭和32年

8月
第1期鉄筋校舎完成(1号館)

昭和33年

8月
丹波原中学校駅伝優勝

昭和35年

3月
第2期工事(講堂兼体育館)完成

4月
第3代校長 堀敏夫着任

会報バックナンバー

UTASHIRIYAMA JHS CLASS REUNION
歌敷山中学校
同窓会

会長あいさつ 母校・同窓会の歩み 同窓会規約 卒業生教 組織・役員 お知らせ
個人情報保護について ▶ 会報バックナンバー ▶ 母校・同窓会短信

会報バックナンバー

年に一度発行される同窓会会報をPDFファイルで閲覧・ダウンロードすることができます。

平成30年度 (2018年)	同窓会会報 No.25 ダウンロード
平成29年度 (2017年)	同窓会会報 No.24 ダウンロード
平成28年度 (2016年)	同窓会会報 No.23 ダウンロード
平成27年度 (2015年)	同窓会会報 No.22 ダウンロード
平成26年度 (2014年)	同窓会会報 No.21 ダウンロード
平成25年度 (2013年)	同窓会会報 No.20 ダウンロード
平成24年度 (2012年)	同窓会会報 No.19 ダウンロード
平成23年度 (2011年)	同窓会会報 No.18 ダウンロード
平成22年度 (2010年)	同窓会会報 No.17 ダウンロード
平成21年度 (2009年)	同窓会会報 No.16 ダウンロード

歌敷山中学校同窓会事務局
〒655-0037 神戸市東水区歌敷山2丁目4-1 神戸市立歌敷山中学校内
TEL : 078-707-8864

▶ 母校ホームページ

© 2021 UTASHIRIYAMA JHS CLASS REUNION

各委員会からのお知らせ

1 賛助金、支援金で協力の御礼

(事務局、財務委員会)

本年度も総会開催に当たりご協力をお願いしましたところ、多数の会員の皆様の賛同をいただきました。例年のことながら深く感謝と御礼を申し上げます。同窓会への皆様の熱い気持ちを大切に、有効に活用させていただきたいと思えます。

2 来年度総会予定について(事務局)

来年度(二〇二二年度)総会は、舞子ピラにて二〇二二年十一月五日(土)を予定しています。学年記念同期会と併せて多数のご参加をお待ちしています。

〔記念同期会〕

- 十三回生 (六十周年)
- 二十三回生 (五十周年)
- 三十三回生 (四十周年)
- 四十三回生 (三十周年)

3 同期会への助成金について

同窓会活動を活性化することを目的として、各学年主催の「同期会」を開催する時には、一定の要件を満たすことを条件に同窓会本部より助成金が出ます。詳細については同窓会事務局へ連絡下さい。

TEL 〇九〇一二〇一〇一〇五三二

会 計 報 告

令和3年3月31日現在

財 務 委 員 会

令和2年度 (R2.4.1 ~ R3.3.31) 決算報告書

(単位：円)

	収 入 の 部		支 出 の 部	
	項 目	金 額	項 目	金 額
一 般 会 計	前新 期会 預会 支金	4,421,952	会 議 費 事 務 費 通 信 費 奨 励 金 印 刷 費 特 別 事 業 替 金	8,576
	繰 越 会 利 援 金	716,263		0
		35		3,660
		387,000		0
	小 計	5,525,250	小 計	20,000
				247,910
				489,880
				-201,217
				4,956,441
	小 計	5,525,250	小 計	5,525,250
総 会 計	総 賛 祝 懇 親 一 般 会 計 か ら	0	会 議 費 事 務 費 通 信 費 印 刷 費	0
	会 助 金	424,000		9,943
	会 費 儀 費 振 替	0		173,680
		-201,217		39,160
	小 計	222,783	小 計	222,783
	合 計	5,748,033	合 計	5,748,033

*コロナ感染対策の一環として母校各教室への空気清浄機の設置費用のうち同窓会寄贈の7台分(395,500円)は一般会計・特別事業で計上しました。

同窓会規約

第1章 総 則

第1条 本会は歌敷山中学校同窓会と称する。

第2条 本会は事務局を神戸市立歌敷山中学校(以下母校と称する)内に置く。

第2章 目的および事業

第3条 本会は会員相互の教養を高め、親睦をはかり、併せて母校の教育を振興することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するために下記の事業を行う。
1. 会報等の発行、名簿の管理、諸会合の開催

2. 母校教育活動への協力
3. その他、本会の目的を達成するために必要な事項

第3章 会 員

第5条 本会は次の会員をもって組織する。
正会員

(1) 母校卒業者
(2) 母校に在籍した者で、正会員の紹介で評議員会の承認を得た者

客員会員
(1) 母校職員および母校旧職員
(2) 母校PTA役員

第4章 役 員

第6条 本会に次の役員を置く。その任

期はそれぞれ2年とし、再選を妨げない。

会長1名 副会長若干名

理事若干名 監事若干名

評議員、各卒業年度若干名

第7条 会長および副会長は、理事中より互選する。会長は本会を代表し、会務を統括する。会長に事故があるときは、副会長がその職務を代行する。

第8条 理事は評議員中より互選する。この外、必要により会長は評議員会の承認を経て正会員に理事を委嘱することができる。理事は理事会を組織し、重要事項を審議する。

第9条 監事は正会員中より評議員会において選出する。監事は本会の会務並びに収支決算を監査する。

第10条 評議員は正会員中より選出し、評議員会の承認を得るものとする。評議員は評議員会を組織し、重要事項を審議、決定する。また、評議員は出身回生を代表し、当該回生の同窓会諸活動と本部活動をサポートする。

第11条 本会に相談役若干名を置くことができる。相談役は、正会員で本会に功労あつた者の中および客員の中より理事会の推薦で会長がこれを委嘱する。母校校長はその在任中相談役とする。母校教頭はその在任中、同窓会事務局副委員長とする。

第5章 会 議

第12条 評議員会・理事会は会長がこれを招集し、議長を指名する。その議事は出席した評議員・理事の過半数の同意をもって決する。可否同数であるときは議長の決するところによる。

第13条 評議員会・理事会に出席することのできない評議員・理事は書面をもって他の評議員・理事に委任し表決することができる。この場合予め通知した事項に関しては出席したもののみならず、すべての会議には次の事項を記載した議事録を作成し、これを保存する。

第14条 開会の日時、場所、出席者および付議事項

2. 議事経過の要領および結果

第15条 総会とは、毎年総会を開催する。総会とは、会員相互の交流・親睦、同窓会諸活動の報告の場とする。会長が総会を招集・開催する。企画実行は総会実行委員会が行う。総会実行委員会は、理事・評議員および正会員より構成される。この外、必要により臨時総会を開催することができる。

第6章 資産および会計

第16条 本会の経費は、入会金、会費、寄付金およびその他の収入によつて賄う。

第17条 正会員は本会に要する会費等を

負担する。

第18条 入会金は、原則として、在学中に積み立てた一定の金額をもつて充当する。

第19条 前条により収納した入会金と会費等は、これを一般会計と総会計に分ける。

第20条 会計は、理事がこれを行ない、その決算は、監事の監査を経た後評議員会の承認を経なければならぬ。

第21条 一般会計より生じた余剰金については、理事会の承認を得て総会計に充てることができる。

第22条 本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第7章 補 則

第23条 本規約は、理事会および評議員会において出席の四分の三以上の同意を得なければ、これを變更することができない。

第24条 本会は、支部を地方、会社、学校、などに置くことができる。但し、支部規約は、別にこれを定める。

付 則

昭和55年6月1日、新規同窓会規約制定

平成10年11月8日、第1回改正

平成18年4月15日、第2回改正

平成29年10月7日、第3回改正

参考…昭和25年5月、歌敷山中学校同窓会の発足と規約発表があつたとの記録がある。

歌敷山中学校同窓会役員一覽

(令和三年二月三日現在)

本部役員

会長

山口 雅登(17回生)

副会長

青木 宏真(22回生)

事務局長(理事)

山際 丈(17回生)

名簿委員会委員長(理事)

東石 満夫(17回生)

(兼)財務委員会委員長(理事)

青木 宏真(22回生)

財務委員会委員

砂川 廣行(15回生)

財務委員会委員

國方美知子(22回生)

体育会担当委員

酒井 丈子(26回生)

同

佐伯 省一(26回生)

同

松下 聡子(29回生)

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

文化発表会担当委員

林 佐名哉(7回生)

同

津田美智子(9回生)

同

花田 春洋(11回生)

同

阿部 洋子(17回生)

同

真期 晴代(17回生)

同

藤本 純子(17回生)

同

藤本 純子(17回生)

同

廣報委員会委員長(理事)

同

廣報委員会委員(兼)

同

山口 雅登(17回生)

同

黒島 陸枝(7回生)

同

林 佐名哉(7回生)

同

酒井 康夫(11回生)

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同窓会担当母校教頭

(事務局副委員長)

小笹美賀子

(〇七八)七〇七一八六四(母校)

相談役

母校校長

藤原 裕之

元会長

竹中 義明(1回生)

評議員

1回生

竹中 義明

2回生

岡本 正幸

3回生

永井 昭夫

4回生

中村 義正

5回生

塩崎 武

6回生

神部 元成

7回生

原田 良彦

8回生

角南富美子

9回生

林 佐名哉

10回生

曾谷 全博

11回生

大谷 靖彦

12回生

津田美智子

同

泉 一誠

同

吉川 彰

同

西谷 智美

同

山下 和代

同

平田 孝子

同

磯野 久代

同

吉田日出子

同

中村 和弘

同

富士 繁一

同

毛利 倫

同

山本 義宏

同

細川 光孝

同

北川 孝輔

同

酒井 康夫

同

藤井 英明

同

花田 春洋

同

立花 宏昭

同

左 吉宏

同

吉田 基

同

北畠 哲夫

同

黒島 陸枝

同

春田多美子

同

日置 直美

同

長野 齊

同

吉岡昭一郎

同

木下 トミ

33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13
 回
 生

浜口まゆみ 木之下悟 井本美千代 前田徹 大野由華利 壺井勇次 榎原克佳 牧原典子 長谷川真理 佐伯省一 野下明美 滝井美代治 林隆嗣 阿部まどか 長谷英彦 藤谷積 國方美知子 青木宏真 宮崎郁子 改發秀彦 中原憲造 藤井三恵子 浜田真理子 田中真理子 富士健二 高杉優子 阿部洋子 東石満夫 井上文子 砂川廣行 高谷道徳 堀江正明 隅田雅裕

山本明弘 鎌田耕吉 村田康樹 高谷理恵 松下聡子 作和憲 酒井丈子 中瀬俊明 小川ふさ栄 志水邦子 白井ユリ子 中川敏代 清水圭子 北森哲治 喜多昭二 稲葉正昭 黒田修一 山際丈 真期晴代 山口雅登 藤本純子 平沼加代子 加藤美恵子 中村光政 東重夫

59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34
 回
 生

渡辺彩乃 杉原彬元 上山孟巳 久保絢菜 原俊典 青木奈帆 葛尾貴寛 北野将希 高濱瑞穂 外浦健司 南原良宣 小渡洋一 西野美穂 土江ひろみ 今泉ひろみ 桂翔生 西村晃 正井迅一 田中元樹 大倉尚志 田村公伯 北田真理 百瀬道春 素野ゆう子 辻琴代 内田雅之 神尾雅之 横山秀男 恩田香代 藤浦健二郎 上田貴久

都亜由美 中本博子 原田夏実 都昌平 米井美佳 村田英理子 十倉容子 伊藤絵里香 八田原納苗 近藤尚子 宮崎秀一 大坪茂幹 澤田典子 有馬龍平 素野貴巳子 都賀明 柴田浩司 山本明子 宮本明子 津村健一

72 71 70 69 68 67 66 65 64 63 62 61 60
 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回
 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生

河野さくら 石原茉歩 矢嶋しすら 秋山結子 宇多村結子 小玉拓未 武田史明 市川杏奈 内藤優奈 日高瑞希 田村絃 小川須賀詩織 鈴木琢也 山田咲良 野田賛太 須藤万結 清水一哉 久保滉一郎 渡辺沙也子 首藤美紀 上田仁史 中川紗也香 皆木雄太郎 秋間梓 猪塚萌

平井優也 山中颯大 武田幸 谷田恭梧 清藤蒼和 江戸遥香 有元こころ 岩木文努 大西夏貴 迫平晴帆 廣瀬理帆 中田陽久 遠藤加奈子 小林遥香 富永榛人 岡山知輝 水谷薫 渡辺涼乃 菅良平 上田優馬 森美波 入江健志 中尾亮太



トライやる・アクション

ご承知の通り母校でも毎年「トライやる・ウィーク」活動を実施しておりますが、新型コロナウイルス感染予防のため、折り紙で作成したクリスマスリースとビデオメッセージを持って今までお世話になった多くの事業社さんを訪問しました。ビデオメッセージは学年全員のダンスをドローンで撮影しました。

お弁当、パンなどをお店で購入し、地域との交流を一層深める事ができました。

■今までご紹介いただいた体験の場

(幼稚園・保育園・小学校・商店・病院・

動物病院・旅行社・商業施設 他)

■連絡先

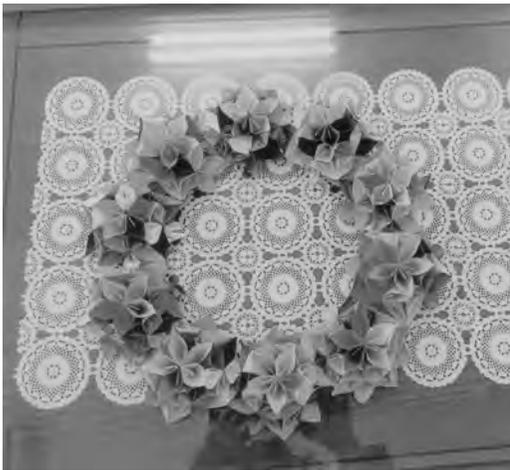
歌敷山中学校「トライやる・アクション」

推進委員会

担当：前藤 智子先生 矢萩 聡和先生

TEL 〇七八ー七〇七ー八八六四

FAX 〇七八ー七〇七ー八八六五



フェイスブック www.facebook.com/utasikiyama.dousoukai/

●賛助金・支援金のお願い●

振込先 郵便振替 1口2,000円以上
口座記号・番号 00970-6-187019
加入者名 歌敷山中学校同窓会

お振込いただいた方には会報をお届けします。

●お 願 い●

コロナ禍で行事のない年が続きますが、多くの賛助金・支援金をありがとうございます。今後ともよろしく願い申し上げます。

〒655-0037 垂水区歌敷山3-1-10
携帯：090-6962-8729 17回生 藤本 純子



歌敷山中学校同窓会会報

第二十八号(令和三年度)

令和四年二月吉日発行

〒六五五―〇〇三七

神戸市垂水区歌敷山二丁目四―一

(神戸市立歌敷山中学校内)

歌敷山中学校同窓会

TEL(〇七八)七〇七一八八六四

編集 会報広報委員会
印刷 (有)新和プリント

